

# ともに学びあい ころろひびかせ

## ■ 学校教育の充実 ■

新しい時代に生きる子どもたちの豊かな成長を支え育む

「第4期白老町スタンダード（白老の底力）」に基づいた白老町の探究型授業の確立、安心して過ごせる包容力のある学校・集団づくり、学校・家庭・地域との連携の三つを重点に、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

さらには、子どもたちの興味・関心に応じた任意の検定試験への公費助成や、これまで中学校3年生の受験対策として実施してきた白老寺子屋についても長期休業を利用したオンラインによる学習への転換など、子どもたちの多様な学習機会を創出し、学力の定着や向上を図ってまいります。

**豊かな人間性の育成**につきましては、昨年度改訂された「生徒指導提要」に基づき、校長のリーダーシップの下、児童生徒の困難や課題に向き合う教師の姿勢の涵養（かんよう）や教育相談の充実などを通して、子どもたちの自己肯定感や自己有用感の醸成に取り組んでまいります。

いじめや不登校につきましては、未然防止や早期発見・対応の充実と、いじめの積極的認知へ向けた取り組みや、スクールカウンセラーなど専門家による相談対応、ICT機器を活用した支援など、将来の社会的自立を見据え、子どもを取り巻く環境の改善を図ってまいります。

**特別支援教育の充実**につきましては、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、北海道教育委員会の「特別支援教育に関する基本方針」に基づき、多様な学びの場の充実をはじめ、切れ目のない一貫した指導と支援、教員の専門性の向上を図ってまいります。

また、通級による指導や支援を受ける児童生徒につきましては、白老小学校を拠点とした巡回型通級指導教室の拡充を図るため、令和4年度の白老中学校に続いて今年度から新たに菟野小学校にも開設し学びの環境の充実を図ってまいります。

**地域に信頼され、地域とともにある学校づくり**

ふるさと教育の充実につきましては、白老未来学の指導計画に基づき、子ども

たちが学びを基にした地域の魅力発信や、地元の特産品を紹介する地図づくりなど、義務教育9年間を通じた体系的な活動や、さまざまな人の出会いや体験を通して学んだことを積極的に発信する教育活動が展開されております。

引き続き、地域の自然や文化・歴史を大切にしながらふるさとへの愛着を持ち続ける子どもの育成に向けて取り組みを進めてまいります。また、これまで土曜授業として行ってきた「ふれあいふるさとDay」は、曜日を問わない実施方法へ変更し、教育計画への位置付けを再構築し、より一層学びに向かう力や郷土を愛する心などを育み、地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

**安全・安心の保障**につきましては、関係機関と連携した通学路の定期点検、スクールバスの活用方法や危機管理対応マニュアルなどの見直し、防災に関する教職員研修の実施など、児童生徒の安全確保および事故の未然防止や防災・減災に引き続き努めてまいります。

**多様化するニーズに対応した教育環境の整備**

学校の組織運営体制の充実につきましては、北海道教育委員会の第3期